会　員　動　靜

荒川達雄	高知県高知市　高知日赤病院外科
入江浩太郎	福井県小浜市　小浜病院
江佐晧一	和歌山県東牟婁郡太地町　立太地診療所
岡田斌	徳島市蔵本町　徳島大学医学部外科教室
沢田蘇応三	大阪市　大阪市立医科大学
副島均	滋賀県高島郡　朽木村診療所
万献沂	三重県南牟婁郡阿田和町　南牟婁病院
間島正徳	福井県福井市月見町　福井日赤
松村浩	奈良県　高田市民病院
横田友二	高知県高岡郡佐川町　高北国民保健病院
生野正	愛媛県西条市朔日市八〇四　西条中央病院

編輯後記

○愈々五月．みどりの季節が始まる．メーデーとMSA協定の効力発生を皮切りにして始まるこの日本のみどりの季節の表情はかなり複雑である．之等の世相をよそに，今我等に最も関係の深い日本外科学会，日本整形外科学会が，岡山，仙台に於て盛大に開催されようとしている．真理の追求，新知見の発見，医学の歩みは谷間ゆく速つ瀬に優る．この時に日本外科宝函第23巻第3号を皆様にお届け出来ることは何よりうれしい．

○本号に掲載予定の大阪市立医大白羽教授の"A Few Problems of Antibiotic Therapy"の綜説は都合で次号に掲載する事になり，その代り荒木教授，竹友助教授，石井昌三，3氏の"Considerations on Sensory and Motor Disturbances in Neural Leprosy"の原稿を掲載させていただいた．

○各号毎にいつも相当の努力をしながら，いざ出来上ると必ず誤植が多く目に付くのには恐縮している．編輯委員を強化する意味で，新たに一員に加えられ，責任をもつて本号の校正に努力した積りであるが，果して期待にそい得たかどうか，全く心配である．

○論文の国際性ということに関聯して，出来るだけ論文は外国語でという趣旨が本誌に反映して来ている事は喜こばしい．本誌が月並みの外科雑誌でもなく，単に京大外科教室の研究発表の機関雑誌でもなく，名実ともに一流の日本外科学発達の学術雑誌たる事を目ざす以上，今後ともどしどし欧文原稿を掲載し続けて行きたいと思う．会員諸君の御協力を切に希望する．

○終りに不慣れな私に絶えず御指導と御協力を賜わつた星野講師，日笠講師に深甚の謝意を表する．

（半田　肇記）